

総務委員会

●財産の処分について

Q プロポーザルの結果、予定価格と大きな乖離があるが、今どうしても処分しなければならない理由は何か。

A 建物等の処分費が、日々増高していることに加え、土地の売買取引も無くなってきており、価格も下がる状況になってきていることも勘案した。今回の契約は、競争性が保たれた公募型プロポーザルで行われ、市場価格として決まってきたものであり、今後、これ以上の価格での処分が想定できないと判断したためである。



売却予定の旧袋井消防署

●令和2年度袋井市一般会計予算～秘書費～

Q 市制施行15周年イベントについて、10月25日の開催が予定されているが、地域からの参加も予定しているのか。また、新型コロナウイルスの影響で中止する場合は、どのように周知するのか。

A 地域の行事も多いため、年間予定の中で、どうしても調整がつかない場合は、地域から参加できないことも止むなしという部分もある。参加については、地域からの動員ではなく、プログラムで集客効果が高まるような工夫をし、自発的に参加していただける在り方を検討していきたい。

また、新型コロナウイルスについては状況が刻々と変化中、今の段階では、申し上げにくい面もあるが、本イベントの場合は、延期ではなく中止となる。多方面へ声掛けをしていく分、影響も大きくなることから、適切な時期を見極めた中で、皆さんにご案内したい。

●令和2年度袋井市一般会計予算～スポーツ振興費～

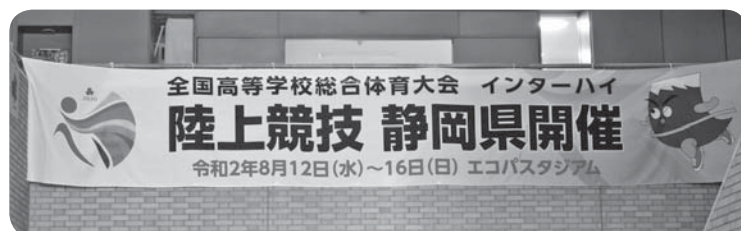
Q インターハイ陸上競技の新年度予算計上額が少ない。どのようにPRしていくのか。

A インターハイの陸上競技は、県からは市へ費用負担を求められていない。しかし、エコパスタジアムで行うこと、全国から選手や応援団約10万人（5日間の延べ人数）来ることが予想され、大会当日までのPRをしていきたい。県の実行委員会にも意見を伝え、市のシティプロモーションが出来るように対応していきたい。

●令和2年度袋井市一般会計予算～地域医療推進費～

Q ドクターヘリ格納庫整備事業費補助金の積算根拠は。

A 全体の事業費は、およそ5億3千万円、そのうち3億円は、聖隷福祉事業団が土地を購入する分であり、約1億6千万円がドクターヘリ格納庫にかかる整備費である。このうち国、県の負担分を除いた焼津市以西の県内14市町の負担が、およそ5千4百万円であり、14市町の人口とドクターヘリ要請件数割合により算出されている。



インターハイ陸上競技の横断幕（市役所2階設置）

民生文教委員会